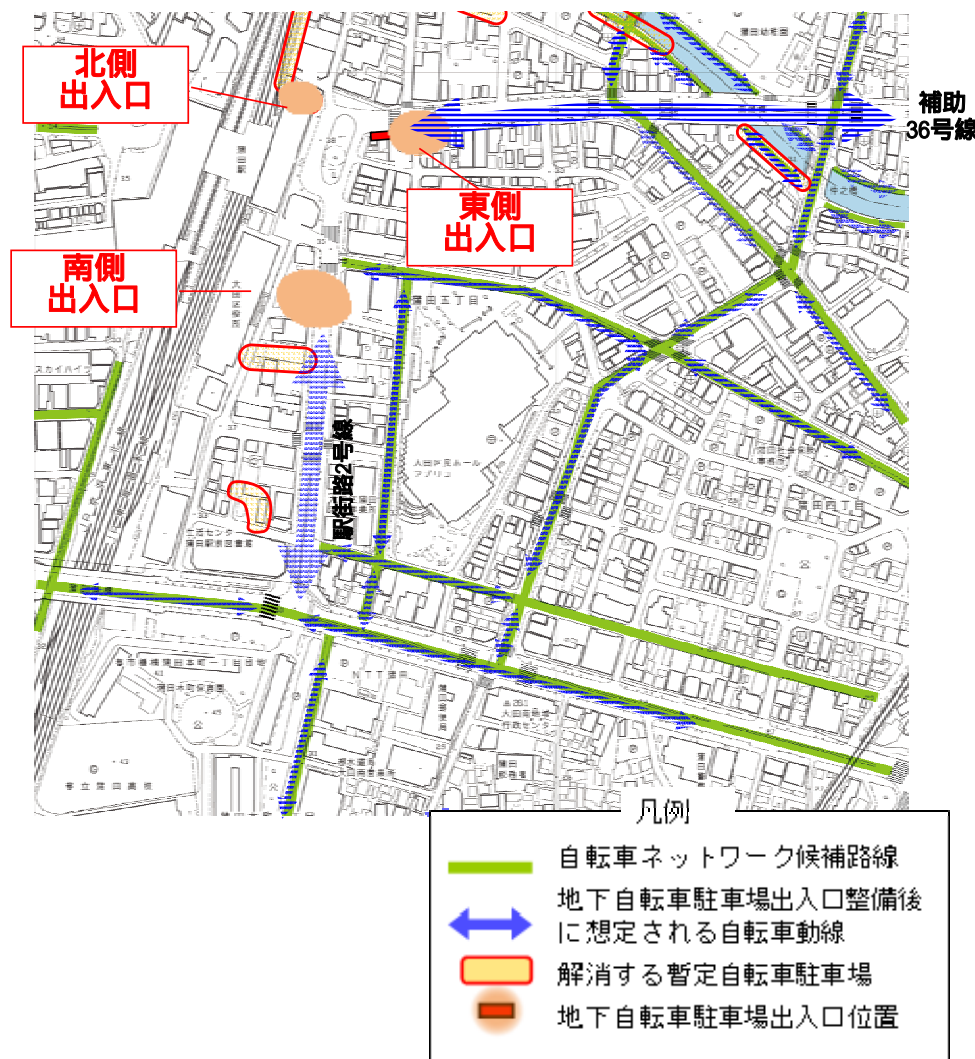


東口地下自転車駐車場整備計画 平成 25 年度のまとめ

自転車ネットワーク路線と地下自転車駐車場出入口箇所



地下自転車駐車場出入口整備の概要

北側出入口

- ・交番横に斜路付き出入口を設置
- ・エレベーターの設置

東側出入口

- ・補助 36 号線南側に斜路付き出入口を設置
- ・出入口に合わせて進入走行レーンを設置

南側出入口

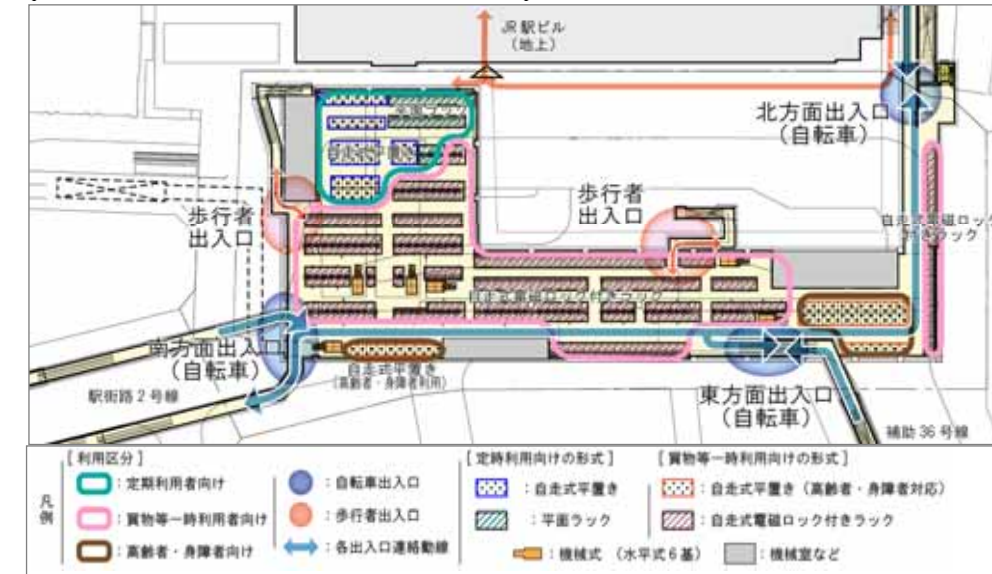
- ・駅街路 2 号線に斜路付きの入口、出口を別々に設置
- ・出入口に合わせて進入・退出走行レーンを設置

地下自転車駐車場

(地下自転車駐車場計画条件)

- ・公共用地の活用を基本として、暫定自転車駐車場 2,500 台、放置対策 500 台、合計 3,000 台程度を目標台数に設定
- ・通勤・通学、買い物等の利用区分を考慮した設備の配置
- ・場内通路・スロープ幅員等は「自転車駐車場整備マニュアル 建設省都市局」を参考

(公共用地を活用したレイアウト)



| 駐車設備区分 | 計画台数 | 設置可能台数 |
|--------------|-------|--------|
| 自走式平置き | 200 | 190 |
| 平面ラック | 400 | 78 |
| 自走式電磁ロック付ラック | 900 | 900 |
| 機械式〔水平式6基〕 | 1,500 | 1,548 |
| 合計 | 3,000 | 2,716 |

【公共用地の活用によるレイアウトの課題】

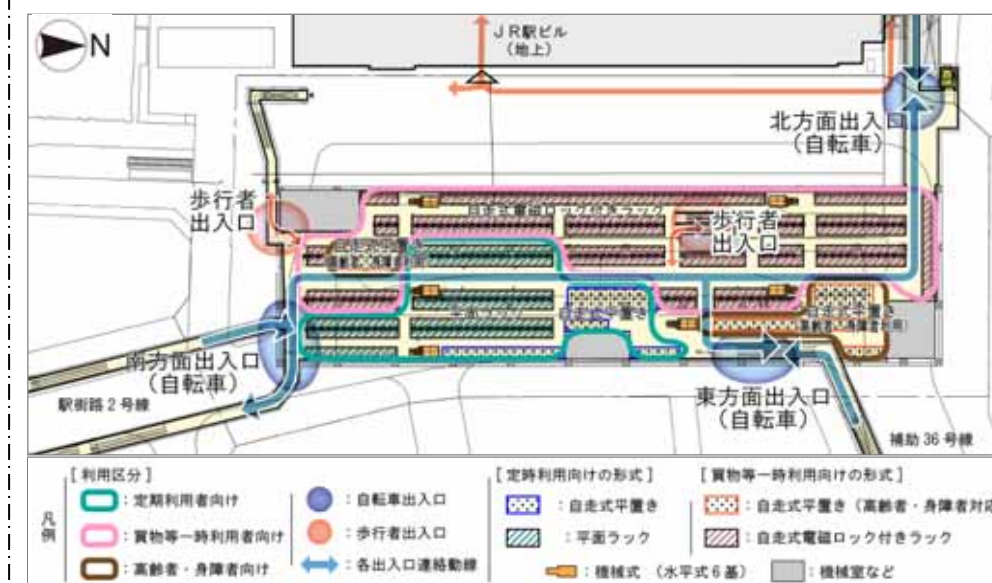
- 駐車場躯体形状が不整形
- ・必要台数の確保が困難
- ・利用目的に応じた駐車施設の配置が困難
- ・駐車場内北側の狭あい部分に北・東方面からの動線が集中
- ・駐車場の南、駅ビル側の視認性が悪い

【更なる利便性向上のための課題】

- より利便性の高い(止めやすい)自走式平置き設備増設のための空間確保
- 将来の需要台数の変化や利用方法の変更にも対応する空間確保

課題解決に向け、関係事業者と継続して検討中

(課題解決に向けた公共用地以外を活用したレイアウトの検討〔公共用地と同一面積で整形化したケース〕)



【公共用地以外の活用による課題解決】

- 駐車場躯体形状を整形
- ・効率的な配置による必要台数以上の確保
- ・利用目的に応じた駐車設備の配置が可能
- ・駐車場内北方面出入口付近の空間確保により、方面別利用率の高い北東方面への対応が可能
- ・北側出入口利用者の駐車場内動線の分散
- ・南北方向の視認性の確保、防犯安全性の向上
- ・施工上の効果(施工期間の短縮等)、工事費の低減